

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【渋沢栄一翁が主人公となる大河ドラマ・新一万円札発行を基軸とした

深谷・埼玉への誘客プロジェクト】

推進当初

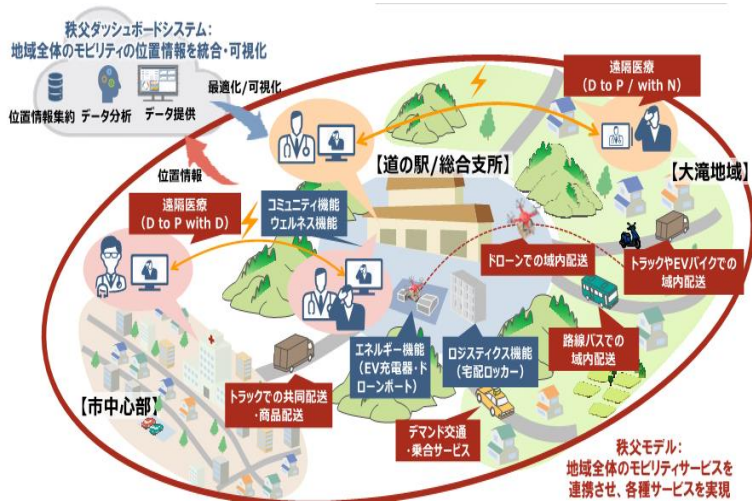
申請者	埼玉県、深谷市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	404,607千円 (20,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・令和6年渋沢翁が新一万円札の「顔」として取り上げられるというチャンスを起爆剤とし、誘客事業の充実を図る ・深谷市を結節点として広域の県内周遊を促す仕掛けを行うことで、本県を訪れる観光客増加を図る ・おもてなし体制を整え、旅の愉しみを観光客へ提供することで地域経済の活性化を図る ・深谷市民の愛着や誇りが醸成され暮らしの価値につなげることで、更なる賑わいあるまちづくりを図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新一万円札の顔渋沢翁に関するプロモーション事業 ・各種イベントやメディア等を活用した県内外への情報発信 (委託料・消耗品費) 12,000千円 ○渋沢翁ゆかりの地・深谷市を中心に埼玉ならではの体験を盛り込んだツアー造成 (補助金) 2,000千円 ○渋沢栄一翁をテーマとした「学び・体験の観光」振興事業 (委託料・消耗品費又は印刷製本費) 3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①深谷市における観光入込客数 (+6,991,369人) ②観光客1人当たりの観光消費額 (県外からの日帰り客) (+2,500円) ③観光客1人当たりの観光消費額 (県外からの宿泊客) (+4,500円) ④本事業による商品開発支援数 (+25件)	関連URL	https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/chihou-sousei.html



事業概要【山間地域におけるスマートモビリティによる生活交通・物流融合事業】

推進当初

申請者	埼玉県秩父市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	300,070千円 (62,750千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・山間地域にあり少子化、過疎化が深刻である市内大滝地域は、人とモノの移動の困難さが課題。 ・高齢化による移動の困難さを無くすため、物流の効率化や遠隔医療の促進を図ることが必要。 ・「ドローン」と「物流MaaS」を活用し、物流の効率化と「遠隔医療」に取り組み、持続可能なまちづくりを創出。 ・各サービスが保有する情報をクラウドで集約・分析し、統合するシステムを活用し、課題解決を図る。		
事業概要・ 主な経費	★生活インフラの維持を目的にドローン配送による高齢者等への買い物支援や物流網を維持する為に共同配送や貨客混載を行い、医薬品等の配送も視野に入れてICT等を活用した遠隔医療（オンライン診療）の取組を実施する。 ○秩父ダッシュボードシステム運用事業（委託料）20,400千円 ○ドローン物流プレサービス事業（委託料）14,200千円 ○遠隔医療サービス事業（委託料）1,000千円 ○小型電動モビリティ/EVカーシェア サービス事業（委託料）2,150千円 ○貨物混載システムサービス事業（委託料）5,000千円 ○ドローン物流実証用ポート・機体調達費（委託料）20,000千円		
KPI	①当該事業を通じた雇用創出者数（+20人） ②当該事業による貨物混載の路線数及び大手物流事業者との共同配送路線数（+7本） ③大滝地域高齢者のオンライン診療受診移行率（+26%） ④当該事業に関わった大滝地域住民の満足度（+70%）	関連URL	https://www.city.chichibu.lg.jp/9410.html



申請者	埼玉県さいたま市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	47,942千円（10,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	SOIPとはスポーツの場におけるオープンイノベーションを促進し、スポーツへの投資促進やスポーツの価値高度化を図り、スポーツの場から他産業の価値高度化や社会課題の解決につながる新たな財・サービスが創出される社会の実現を目指す取り組みであり、本取組を通して、社会課題の解決やコミュニティの創出、関係人口増加に寄与するとともに、スポーツ産業をはじめとする新産業の創出及び既存産業の活性化を目指す取組である。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	さいたま市版SOIPの本格運用として、5つの推進テーマに即したプログラムを実施し、企業間にコンソーシアムを組成するとともに、それぞれの進捗や進め方に応じ市場展開型テストマーケティング等を実施し、ビジネス展開につなげる。 さいたま市版SOIP本格運用（オープンイノベーションプログラム実施）経費 10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①支援事業を通じた起業による新規雇用者数（+70人） ②支援事業を通じた企業誘致件数（+7社） ③支援事業への加入・参加企業数（+80社） ④支援事業により実施したテストマーケティングの数（+20件）		関連URL https://www.city.saitama.jp/006/008/002/012/004/004/p098287.html

事業概要【「酒好きいらっしやい！」埼玉宿泊観光客拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	埼玉県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	123,900千円 (38,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	県内に34もの酒蔵が各所に点在しているという本県の特徴を活かし、お酒を軸として宿泊者数増加への取組を全県で推進していく。また、新型コロナウイルスの影響によりテレワークの浸透やワーケーションの普及など、宿泊に関連する新たなニーズが広がっている状況を踏まえ、ワーケーションやテレワークのプランを全県展開し、観光消費額を向上させ、本県地域経済の活性化を図ることを目的とする。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1「酒好きを中心としたツアー造成・プロモーションによる宿泊観光客数増加」 ・県物産観光協会による「埼玉の酒」を軸としたツアー造成、プロモーション（補助金）：19,000千円 2「新しい旅のスタイル・働き方を主とした観光事業」 ・県物産観光協会によるワーケーション、テレワーク宿泊プランの導入、プロモーション（補助金）：19,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 1人当たりの観光消費額（県外からの宿泊客） （+9,645円） ② DMOによるツアーの造成数（+131本） ③ DMOが造成したツアーの参加者数（+1,170人） ④ 1人当たりの観光消費額（ビジネス目的の宿泊） （+4,224円）	関連URL	https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/chihou-sousei.html

事業概要【花を活用した魅力あるまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	埼玉県鴻巣市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	62,640千円 (20,880千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・一年を通じた賑わいの創出 ・地域食材を活用した商品の開発による農業・商工業分野の活性化 ・栄養や健康といった付加価値を加えることによる本市農産物のブランド化 ・情報発信機能の強化による関係人口の拡大		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	指定管理料 ○地域食材を活用した商品の開発、提供に関する事業(13,840千円) 女子栄養大学、日本薬科大学と産官学連携で地域食材を使用したメニューの開発・提供、地域食材の販売、6次産業化の推進 ○食と健康に関する事業（2,570千円） 提供メニューのレシピをはじめとする食と健康に関する情報発信、料理教室、栄養セミナー、食育講座、農業体験等を実施 ○花と緑のPRに関する事業（2,120千円） 施設及び施設敷地内の植栽帯を活用した花のPR、フラワーマルシェ（花の即売会）、SNSを活用した花のPR ○交流促進に関する事業（2,350千円） デジタルサイネージを活用した情報発信、企業や大学等と連携した交流促進イベントの開催		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①提供メニューに使用した地域食材の仕入れ額（+6,375千円） ②6次産業化された特産品等の商品数（+22商品） ③施設の来館者数（+23,000人） ④転入者数（+500人）		関連URL https://www.city.kounosu.saitama.jp/page/3134.html

事業概要【「農のある生活」を契機とした地域経済活性化及び農業振興事業】

推進当初

申請者	埼玉県川越市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	15,675千円（8,926千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・都市農業（多品種生産、伝統野菜、世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」）を活用した滞在型のグリーンツーリズムを展開し、中心市街地との川越観光の連携を図る。 ・農産物の消費拡大等を通じた農業者の所得向上を図る。 ・都市住民の農業への理解の醸成による将来的な就農を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「農のある生活」を楽しむための農業体験コンテンツの開発、実施 ・体験講座講師費用(報償)90千円(補助金)36千円 ・モニターツアー企画(補助金)400千円 ・動画の制作(補助金)200千円 ○民間活力を活用したグリーンツーリズム拠点施設運営の検討 ・PFS等民間活力活用調査費(委託料)8,000千円 ○効率的な農業を実現するためのスマート農業研修会の開催 ・実施費用（委託料）200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物直売所の年間販売額（+2.2億円） ②グリーンツーリズム拠点施設における新たな支え手の人数（+15人） ③グリーンツーリズム拠点施設利用者数（+5,521人）	関連URL	市HP：川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 https://www.city.kawagoe.saitama.jp/shisei/seisakushisaku/hoshinkeikaku/shiseizenpan/machihitoshigoto/index.html

事業概要【「来て良し・住んで良し」埼玉づくり官民連携プロジェクト事業】

推進当初

申請者	埼玉県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	100,113千円（35,101千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本事業により、「都心から時間をかけず、気楽に観光が楽しめる」魅力的な場所として認知され、本事業の取組前に比べて本県を訪れる交流人口（観光入ができる）「農ある暮らしができる」魅力的な場所としての認知度も向上し、本事業の取組前に比べて本県で暮らす定住人口（Uターン数）が増加し、上述のような本県の観光コンテンツを楽しむ方で賑わうまちを目指すことを目的とする。また、「豊かな自然環境と高い生活利便性を両立した暮らしな便利な生活基盤で子育て世代層などがのびのびと暮らせるまちを目指すことを目的とする。この2つの面における本県への人の流れを変えることで、地域が賑わい経済活動が活発な魅力的な地域として持続可能な発展を続ける埼玉県を実現する。		
事業概要・ 主な経費	1（仮称）官民連携による交流・定住促進協議会設置・運営事業 協議会創設、総会・部会等開催...(使賃料・報償費274千円) 2 交流・定住促進プロモーション等事業 ①子育て層向けプロモーション動画、オンデマンドセミナー動画制作 ...(委託料・需用費9,936千円) ②子育て層へのターゲティング広告、特設サイト、SNS等情報発信...(委託料等6,193千円) ③観光、移住・定住の一体的情報発信・相談拠点の設置・運営 ...(委託料13,001千円) ④プロモーション動画と連動した現地訪問促進セミナー、移住・定住・交流イベント等開催 ...(使賃料・役務費・需用費2,057千円) ⑤地域おこし協力隊卒業者等ネットワーク創設、卒業者等地域人材の発掘・育成研修 ...(報償費・使賃料200千円) 3 農ある暮らしの魅力発信事業 ①観光感覚で参加できる農ある暮らし体験ツアー開催...(委託料・役務費3,201千円) ②農ある暮らし専門セミナー開催...(報償費・需用費・役務費239千円) （仮称）官民連携による交流・定住促進協議会 鉄道事業者 物産観光協会 金融機関 市町村 県 住宅関連事業者 ▶観光&定住ターゲティングによるプッシュ型広報 ▶観光プロモ等動画、SNS等の制作・発信 ▶農ある暮らし等リアルプロモーションでイメージを体験化 「観光先=埼玉」 認知度up 「定住先=埼玉」 認知度up 「訪れたい場所」「暮らしたい場所」 埼玉の実現		
KPI	①地域へのUターン数（+302人） ②本県で観光・レジャーなどを楽しむ人の数（+50,254千人） ③農山村へつないだ都市住民の延べ人数（+4,500人） ④企業と連携して実施した交流・定住人口獲得のための事業数（+7事業） 関連URL https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/chihou-sousei.html		

事業概要【eスポーツを活用した観光コンテンツ創出事業】

推進当初

申請者	埼玉県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	99,111千円（33,743千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	●新たな観光コンテンツを創出することにより、観光客数及び観光消費額を増加させ、観光振興を図る ・県内市町村や民間事業者主体によるeスポーツイベントの開催を促し、「eスポーツ」を本県の新たな観光イメージとして定着させる ・eスポーツの普及・裾野拡大により、共生社会、賑わい創出、産業振興などの社会課題を解決する ・eスポーツ（デジタルデバイス）に触れる機会の拡大により、県民のデジタルリテラシーの向上を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○プロ選手によるエキシビジョンマッチの観戦や人気eスポーツを体験できる、大規模eスポーツイベントの開催 ・イベントの開催及び動画配信（負担金）22,333千円 ○人気eスポーツ内でのバーチャル観光を可能にする、オリジナルコンテンツの作成 ・観光素材撮影及びバーチャルコース作成（負担金）4,078千円 ○全国から高校生を呼び込む、eスポーツトレーニングキャンプの開催 ・キャンプの実施及び観光PR経費（負担金）4,912千円	～新観光コンテンツ～ 大規模eスポーツイベント (事業イメージ) 熊谷ラグビー場 さいたまスーパーアリーナ 埼玉スタジアム2002 3会場接続 バーチャルコンテンツ トレーニングキャンプ 川越市・時の鐘 (観光スポット例) 新たな観光コンテンツの定着	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+2,277円） ②イベント体験参加者数（+4,052人） ③イベント配信動画再生回数（+24,000回） ④「eスポーツ」に関心があり、eスポーツをするまたは配信等で観戦している県民の割合（+23.73%）	関連URL	https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/documents/yusikisyakaigi.html

事業概要【労働生産性の向上支援による持続可能な地域経済推進事業】

推進当初

申請者	埼玉県さいたま市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	390,022千円（113,011千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	人口減少・生産年齢人口減少、物価上昇等の社会経済状況においても、DX・GX支援やオープンイノベーション推進等「業務効率化」と「付加価値向上」の2つの方向性による多様な労働生産性向上支援を通じて、持続可能な地域経済の実現につなげ、市民のwell-beingを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内企業の労働生産性の向上させるため、企業の業務効率化支援と付加価値向上支援という2つの方向性で支援を実施するもの。 【主な経費】 ■DX推進支援事業 ・コーディネータ人件費：17,800千円 ・DX補助金：25,000千円 ・その他セミナー費等：20,837千円 ■副業・兼業活用イノベーション事業 ・委託費：2,000千円 ・専門家謝金：2,475千円 ・交通費・会場使用料：215千円 ■高付加価値サービス創出支援事業 ・専門家謝金：6,600千円 ・委託費：3,000千円 ・企業間共同開発補助金：5,000千円 ・交通費・会場使用料：2,540千円 ■脱炭素支援事業 ・コーディネータ人件費：2,100千円 ・GX補助金：15,000千円 ■ブランドプロモーション支援事業 ・専門家謝金：9,750千円 ・交通費・会場使用料：694千円 労働生産性の向上 分子 付加価値額の向上↑ ■ブランディング支援 既存商品の付加価値向上支援 ■DX推進支援、脱炭素支援事業 新商品・サービスの開発支援 ■副業・兼業活用イノベーション事業 人材不足解消による新事業促進支援 ■高付加価値サービス創出支援事業 企業間共同開発支援 分母 労働投入量の最適化↓ ■DX推進支援 DXコーディネーターによる伴走支援 ITツール導入による業務効率化支援 DX人材育成支援		
KPI	①地域における新規雇用者数（+70人） ②労働生産性の平均向上率（+9%） ③副業人材・異業種企業等とのマッチング件数（+60件）		関連URL

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【SAITAMAロボティクスセンター（仮称）整備事業】

拠点当初

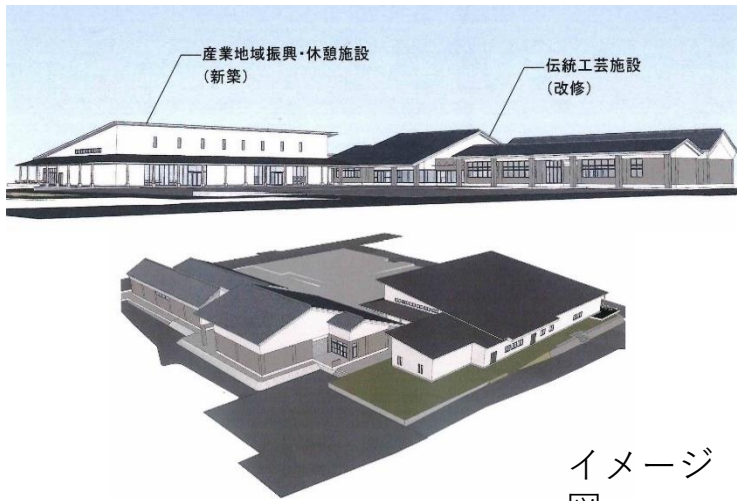
申請者	埼玉県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,000,000千円 (22,000千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	県内に中小企業等のロボット開発を支援するための施設を整備し、先端産業を集積するとともに県内中小企業のロボット産業への参入を促すことにより、新たな雇用と成長をもたらすことで、県内産業の振興と経済的発展を目指す。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	中小企業等によるロボット・ドローンの研究開発や実証実験の場を提供するため、研究開発拠点としてのレンタルラボ及び実証実験を行うための屋内フィールドや屋外のドローン飛行場・模擬市街地フィールド等の実証フィールド並びにオープンイノベーションによる研究開発のためのコワーキングスペースや技術相談室等を一体的に整備する。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 22,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+600人） ②ロボット関連企業や大学等によるオープンイノベーションによるロボット開発プロジェクトの創出数（+20件） ③「埼玉県ロボティクスネットワーク」会員数（+310者） ④SAITAMAロボティクスセンター（仮称）レンタルラボ入居企業数（+20社）	関連URL	https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/documents/yusikisyakaigi.html



地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【小川町地域活性化交流拠点整備事業】

拠点補正

申請者	埼玉県小川町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	1,017,236千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	町の総合戦略の基本的な考え方である「町の地域資源（観光資源や地域食材）を有効に活用し、未来に向けた町の魅力度の向上を目指す取組」として、小川和紙（伝統工芸）、物販、レストラン等の機能をもった「道の駅おがわまち」を、地域資源を有機的に捉え観光振興を図るための中核施設として整備し、人の流れを呼び込み町全体の活性化に結び付ける。		
整備内容・利活用方策	手漉き和紙と有機農業をコンセプトに、道の駅おがわまちの再整備を行う。 【伝統工芸施設の大規模改修】 紙漉き体験、クラフト体験、展示、伝統工芸品販売等。 【産業地域振興施設新設】 地元産農産物や加工品、オリジナル商品などの売店、地元食材を活用したレストラン、商品開発を行う工房等。 【周辺整備（外構・駐車場等）】 ハイキングや自転車等での町内の周遊など滞在時間を確保できるような観光駐車場等。 ・整備費 1,406,878千円		
KPI	①地域における観光消費額（+19.4億円） ②観光客数（+111千人） ③施設売上高（+306,527円） ④電動自転車等の利用件数（+1,125件）	関連URL	 イメージ図 https://www.town.ogawa.saitama.jp

事業概要【交流・関係人口創出のためのフレンドシップ・ハイツよしみ再生整備事業】

拠点補正

申請者	埼玉県吉見町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	399,748千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	本町唯一の宿泊・温浴施設であるフレンドシップ・ハイツよしみをリニューアルし、近年高まりつつある地域資源を活かした「コト消費」による滞在型・交流型観光の需要を地域に取り込み、交流人口、関係人口（企業や人材）を拡大することで、観光産業の活性化と地域課題を同時に解決する地方創生を実現する。		
整備内容・利活用方策	五感を通じたリアルとデジタル技術をミックスした情報発信など、スマートでおしゃれな空間を創出するとともに、コト消費観光客が体験・活動後に温浴・休憩・食事ができる環境を整備することで、拠点間や広域の周遊、リピート来訪を実現する。 従来は紙ベースであった観光案内をデジタルサイネージで実施し、一目でわかりやすい情報発信を通じて、宿泊者の回遊・周遊の動機づけにつなげるとともに、自動精算機システムやスマートフォンによる鍵管理により省力化を図る。 ・フレンドシップ・ハイツよしみ改修工事費：361,776千円 ・デジタルサイネージ等設置費：37,972千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+45,000千円） ②フレンドシップ・ハイツよしみにおける宿泊売上（+12,710万円） ③「小中学生のスポーツ合宿」以外の売上比率（+20%） ④ふるさと納税返礼品における体験型の増加件数（+9件） 関連URL https://www.town.yoshimi.saitama.jp/index.html		